

問1 鎌倉時代に制定された「御成敗式目（貞永式目）」について、その制定の背景や内容として正しい説明はどれですか。 （2026年 富山県公立入試 類似）

1. 聖徳太子が、官吏としての心得を説くとともに、仏教を敬い天皇の命令に従うことを求めて定めた。
2. 徳川吉宗が、裁判の基準を統一して能率的に処理するために、過去の判例などをまとめた法律として定めた。
3. 江戸幕府の将軍が、全国の大名を統制するために、城の修理の制限や参勤交代の義務などを定めた。
4. 執権の北条泰時が、御家人たちの間で増えていた領地争いの裁判を、武士の慣習に基づいて公平に裁くために定めた。

問2 鎌倉時代、宋から伝えられた新しい仏教の一つで、特定の経典や念仏よりも、座禅を組み自分自身を見つめ直す修行を通じて悟りを開こうとする宗派を何といいますか。 （2026年 群馬県公立入試 類似）

1. 浄土真宗
2. 禅宗
3. 日蓮宗
4. 浄土宗

問3 鎌倉幕府の仕組みにおいて、御家人が将軍に対して果たすべき「奉公」の具体的な内容として、戦時の軍役以外に行われたものはどれですか。 （2021年 福島県公立入試 類似）

1. 全国の荘園に年貢を配分する
2. 朝廷の政治決定に従う
3. 幕府に金銭による租税を納める
4. 京都や鎌倉の警衛にあたる

問4 源頼朝が1185年に地頭や守護を設置する権利を朝廷に認めさせた、歴史的な背景や目的として最も適切な説明はどれか。 （2016年 奈良県公立入試 類似）

1. 元寇による国家的危機に際し、九州沿岸の警備を強化するため
2. 承久の乱で勝利した結果、西日本に控えていた朝廷勢力を監視するため
3. 守護大名の権力増大を抑え、将軍による専制政治を確立するため
4. 源義経の追捕を名目に、全国的な軍事・警察権と徴税権を掌握するため

問5 鎌倉時代の政治体制をまとめた記録の中で、源頼朝の死後に幕府が直面した危機について述べられています。後鳥羽上皇による討幕の動きに対し、北条政子が御家人の団結を促したことが幕府側の勝利につながったとされていますが、この出来事が日本の歴史に与えた影響として最も適切な説明はどれですか。 （2023年 熊本県公立入試 類似）

1. 朝廷の力が衰え、幕府による武家政治が全国的に広がるきっかけとなった
2. 天皇を中心とする古代の政治体制が復活する要因となった
3. 源氏の将軍による直接の政治が再開されることになった
4. 室町幕府が誕生し、守護大名の権限が強化されることになった

問6 11世紀末から約200年にわたって行われた、キリスト教の聖地エルサレムをイスラム勢力から奪還することを目的とした軍隊の派遣について、この遠征のきっかけとなる呼びかけを行った人物として正しいものを選びなさい。 （2018年 沖縄県公立入試 類似）

1. 神聖ローマ皇帝
2. ローマ教皇
3. ビザンツ皇帝
4. フランス王

問7 鎌倉時代の将軍と御家人の間には、土地を媒介とした主従関係が結ばれていました。将軍が御家人の功績を認め、先祖伝来の領地の所有権を保証したり、手柄を立てた者に新たな領地を与えたりする恩恵を何と呼びますか。 （2014年 愛媛県公立入試 類似）

1. 守護
2. 奉公
3. 御恩
4. 地頭

問8 源平合戦の最終決戦である壇ノ浦の戦いが、その後の日本社会に与えた影響についての説明として、最も適切なものはどれですか。 （2023年 鳥取県公立入試 類似）

1. 戦いの舞台となった山口県において、毛利氏が強力な戦国大名として台頭し、中国地方全体の統一を成し遂げた。
2. この戦いに勝利した平氏が、京都を中心にさらなる貴族的な政治を推し進め、古代の天皇中心の政治を強化した。
3. この戦いによって源氏と平氏が和解し、公家と武士が共同で政治を行う公武合体の制度が確立された。
4. 平氏が滅亡したことで、政治の実権が貴族から武士へと移り、本格的な武家社会へと移行する大きな転換点となった。

問9 鎌倉幕府において、源頼朝の死後に北条氏が代々就任し、将軍に代わって幕府の政治を統括し実権を握った役職を何といいますか。 （2024年 宮崎県公立入試 類似）

1. 地頭
2. 老中
3. 執権
4. 管領

問10 山形県寒河江市の慈恩寺に伝わる鎌倉時代の仏像を調査した記録によれば、当時の武士社会は将軍と御家人の強い結びつきによって支えられていました。将軍が御家人の領地を保証したり新たな領地を与えたりする「御恩」に対し、御家人が果たすべき義務である「奉公」の具体的な内容として、最も適切なものはどれですか。 （2019年 山形県公立入試 類似）

1. 収穫した農産物の一部を、租・庸・調などの税として都まで運んで納めること
2. 幕府の許可を得て、東南アジア諸国との間で朱印船貿易を行い利益を上げること
3. 戦乱の際に軍勢に加わって戦いに参加したり、京都や鎌倉の警備にあたりすること
4. 大名が一年おきに領地と江戸を往復し、妻子を証人として江戸に住まわせること

問11 承久の乱の後、新たに任命された地頭と荘園領主との間で、土地の支配や年貢の納入を巡る紛争が急増しました。これを受け、1232年に三代執権の北条泰時が、武士社会の慣習に基づいて制定した、裁判の基準となる法典は何ですか。 （2023年 広島県公立入試 類似）

1. 十七条の憲法
2. 武家諸法度
3. 公事方御定書
4. 御成敗式目

問12 東大寺南大門には、運慶や快慶らによってわずか69日で制作されたとされる金剛力士像が安置されています。この像に見られるような、鎌倉時代の彫刻における表現上の工夫について説明したものとして正しいものはどれですか。 （2024年 徳島県公立入試 類似）

1. 浮き出た血管や躍動する筋肉を表現し、力強い写実性を追求した
2. 仏の慈悲深さを伝えるため、穏やかな表情と曲線的な造形を重視した
3. 左右対称の構図を厳格に守り、静寂の中に荘厳さを表現した
4. 金箔や宝石をふんだんに使い、極楽浄土の華やかさを再現した

問13 鎌倉幕府の支配体制の変化についてまとめた資料において、1221年に起きた承久の乱の後に、幕府がそれまでの支配を強化するために京都に設置した機関の名称を答えなさい。 （2026年 岡山県公立入試 類似）

1. 京都所司代
2. 鎮西探題
3. 六波羅探題
4. 鎌倉府

問14 鎌倉時代から南北朝時代にかけて書かれた『徒然草』の背景や特徴について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 （2019年 香川県公立入試 類似）

1. 武士の台頭による社会の混乱の中、平氏の興亡を琵琶法師が語り継ぐための台本として成立した。
2. 出家した兼好法師が、変わりゆく世の中への洞察や人間関係のあり方を記述した。
3. 清少納言が宮廷に仕えた経験をもとに、平安貴族の華やかな生活や感性を表現した。
4. 鴨長明が相次ぐ災害を経験し、この世の無常さを方丈の庵の中から書き留めた。